

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場中学校】

学力向上 アクションマップ

| | |
|----------------------|--|
| ① | 今年度の目標と学力向上策 |
| 重点的に育成する 資質・能力 | (1) 初めて出会う問題や課題に対して、自ら問いを立て、主体的に取り組みながら、多面的に情報を収集・分析し、解決策を考えることができる資質・能力 (2) 主体的・対話的な学びを通して、自分の考えや学びの変化を言語化し、他者との対話を通して考えを更新・調整することができる資質・能力 |
| 実施する学力向上策 【時期・頻度】 | (1) 生徒が「解決したい」「なぜだろう」と感じる未知性や必要感のある課題を設定するとともに、自分で情報を選択・比較・分析する活動を重視する。また、調査結果をもとに、自分なりの解決策や提案をまとめる活動を取り入れた授業を実施する。【各単元の中で1回以上】 (2) 自分の考えや根拠を説明する言語活動を位置付けるとともに、ペア・グループ活動を通して多様な考えに触れる機会を確保する。また、他者の意見と自分の考えを比較・検討し、根拠をもとに説明・質問・再考する活動や、「学びの姿容」を言語化する振り返りを取り入れた授業を実施する。【各教科の単元の特性に応じて、計画的に実施】 |

| | | |
|-------------------|--------------|--|
| ⑤ | 年度末評価 | |
| 学力向上策の 実施状況 | 評価(※) | ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) |
| ↓ | | |
| 今年度の成果と 次年度の課題 | | 結果提供(2月) |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

| | | |
|----------------------|-------------------------|-------------|
| ② | 全国学力・学習状況調査結果の分析 | |
| 特徴的な結果 | | 調査の振り返り(4月) |
| ↓ | | |
| 結果から考えられる 児童生徒の実態 | | 結果提供(7月) |

| | | |
|----------------------|-------------------------|---------------------|
| ④ | さいたま市学習状況調査結果の分析 | |
| 特徴的な結果 | | さいたま市学習状況調査(11~12月) |
| ↓ | | |
| 結果から考えられる 児童生徒の実態 | | 結果提供(2月) |

- ①学校全体での取組
- ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③中間評価を経た取組
- ④調査結果を活用した授業

| | | |
|----------------|-------------|--|
| ③ | 中間評価 | |
| 学力向上策の 実施状況 | 評価(※) | ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) |
| ↓ | | |
| 学力向上策の 見直し | | 中間評価(9月) |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)